老人クラブ「全国１００万人・大阪府４万人会員増強運動」の報告

【ＳＣ大阪の実績】

１　会員数

◇　５年間で３３，２６０人の会員が減少。

新規加入者（増加数）は１８，８９９人、減少数は４７，０６６人となっている。

	運動開始時（H26年）	１年次（H27年）	２年次（H28年）	３年次（H29年）	４年次（H30年）	５年次（R元年）	５年間計
会 員 数	227,267	221,910	215,066	209,060	200,692	194,007	–
対前年比	–	△5,357	△6,844	△6,006	△8,368	△6,685	△33,260

新規加入者数	–	4,580	2,523	4,719	3,330	3,747	18,899
減 少 数	–	9,159	6,305	10,611	11,077	9,914	47,066

《注》市町村によっては、新規加入者数、減少数の内訳がわからない年次がある

２　クラブ数

◇　５年間で２９７のクラブが減少している。

クラブ数	3,408	3,361	3,296	3,244	3,177	3,111	–
対前年比	–	△47	△65	△52	△67	△66	△297

３　５年間の達成状況

（１）目標を達成した市町村　⇒　交野市：目標達成数　７５人　（目標数　270 人）

（２）５年間で会員が増加した市町村　⇒　３市１町

①　豊能町　　１７人増

②　箕面市　　１５人増

③　交野市　３４５人増

④　高石市　４６４人増

４　評　価

◇　会員減少の大きな要因は、単位クラブの解散・休会によるものが大きいと考えられる。

◇　全国的な傾向としても、単位クラブの解散・休会のみならず、市町村老連から脱会する単位クラブや、都道府県老連から脱会する市町村老連があるなど、市町村や都道府県老連の組織運営に深刻な課題となっている。